

ふるさと歴史散歩

〔第65回〕 道隆寺⑧

道隆寺は、大同元年（806年）に弘法大師の開基による薬王寺の後身で、長徳元年（995年）関白藤原道隆が3年の歳月と巨額の費用で方八丁の広大な境内に七堂伽藍を建立し、旧称の「府白山無量寿院薬王寺」を「桑多山安芸院道隆寺」と改号し、安芸国の総祈願所にしたと道隆寺の寺伝に書かれている。

道隆寺付近一帯では、時々畑の石垣や住宅建築工事の際に布目の付いた古い瓦の発見が報告され、奈良時代から平安時代の遺跡の存在が推定されていたが、現実には既存の建物の地下にあって発掘調査がでなかつた。

平成7年（1995年）6月、府中町の都市計画道路「大須上岡田線」の工事に先立って、町教育委員会が該当地区の埋蔵文化財の有無の試掘調査をおこない、布目の付いた古い軒丸瓦と石列遺構が発見され、遺跡であることが分かった。

の届を提出し、発掘調査を実施することを決定した。こうして、昭和30年代に広島大学による下岡田遺跡の発掘以来の比較的長期の発掘調査が平成7年7月から9月初めまでの約2ヶ月実施された。

調査主体は町教委であったが、専門的な発掘指導は日本考古学協会会員であり、島根県立大学名誉教授である筆者が主に行った。この発掘に

は町教委の関係者は勿論のこと、多くの地元住民、広島大学や市内の大学生が調査補助員として参加し、また、発掘終了後の整理作業に参加した。発掘は真夏の猛暑・炎天下という厳しい条件下に行われたが、毎日の作業開始または終了時の説明には皆が参加し、出土品の意味を共有して調査の意義を理解することに努めた。



道隆寺下遺跡発掘調査報告会（平成7年9月3日実施）

現地説明会には、地元だけではなく市内からも熱心な考古学ファンが大勢訪れ、文化財に対する関心の高さを知ることができた。なお、場所については道隆寺下交差点から、水分峡入口方面に進んだつばきバスの停留所辺りで、現在は調査発掘した後に埋め戻し、盛土をし、舗装道路となっている。

府中町文化財

保護審議会会長

横田 禎昭



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター ☎ 286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分 までにごみステーションに出してください。

4 / 29 (水・祝)	北部	有価物（水曜日収集地区）
	南部	ビン・缶・金属類・新聞・雑誌・布類・ダンボール
5 / 4 (月・祝)	北部	普通ごみ（月・木曜日収集地区）
	南部	収集はしません
5 / 5 (火・祝)	北部	埋立ごみ・有害物（第1回目火曜日収集地区） ペットボトル・紙パック・白色トレイ（第1回目火曜日収集地区） ※有価物は収集しません
	南部	普通ごみ（火・金曜日収集地区）
5 / 6 (水・振替休日)	北部	収集はしません
	南部	埋立ごみ・有害物（第1回目水曜日収集地区） ペットボトル・紙パック・白色トレイ（第1回目水曜日収集地区） ※有価物は収集しません

※環境センターへのごみの持ち込みは受け付けていません。



清掃事務所から環境センターへ

リサイクルの拠点施設である「府中町清掃事務所」の名称が、4月1日(水)から「府中町環境センター」に変わります。なお、業務内容の変更はありません。



一時多量ごみの出し方

次のごみは、ごみステーションには出してはいけません！

- ◆庭木の刈り込み等で、一度に3袋以上出すときや、引越に伴う多量ごみ（多量のダンボール箱も含む）
- ◆個人での家の簡易な改装等で生じたごみ（業者が行った場合、自己搬入は不可。業者に処分させてください。）
- ◆敷地内の土砂、側溝の泥等で多量に出たとき（町内会で行ったものは、環境課☎ 286-3242で扱います。）

詳しくは、各家庭に配布している「平成21年度家庭ごみの正しい出し方」をご覧ください。